



報道発表資料の配付日時 1月31日(金) 15時00分

| | | | |
|------------------|--|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 令和元年 檜山管内の漁業生産状況(概数)について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>令和元年(1月~12月)における檜山管内の漁業生産状況について、別添資料のとおりお知らせします。</p> <p>なお、本数値は、檜山振興局管内と熊石地区(八雲町)の水揚量の集計(属地統計)です。</p> | | |
| 参考 | | | |

| | | | |
|-----------------|------|------|------|
| 報道(取材)に当たってのお願い | | | |
| 他のクラブとの関係 | 同時配付 | 同時レク | (場所) |

| | |
|-------------|--|
| 担当 (連絡先) | 檜山振興局産業振興部水産課 (担当者: 課長 西) TEL ダイヤルイン 0139-52-6551 内線 6310-2611 |
|-------------|--|

令和元年 檜山管内の漁業生産状況（概数）について

檜山振興局産業振興部水産課

令和元年（1月～12月）における檜山管内の漁業生産は、概数で3,687トン、24億5千万円となり、前年（3,655トン、26億7千万円）に比べ、数量は約32トンの増となったものの、金額は約2億2千万円の減となりました。

魚種別に見ると、ホッケの水揚げが増加した一方で、管内の主力魚種であるスルメイカの6～7月の水揚げ低調や、ナマコの漁獲が減少したことなどもあり、数量は前年並となりました。

<主な魚種別の動向>

| | |
|---------------------|--|
| サケ | 秋サケは、数量は345トンと前年（197トン）の8割増、金額は1億7千万円と前年（1億3千万円）の2割増となった。 |
| スケトウダラ | 近年、漁獲の減少しているスケトウダラは、1～3月の水揚げが前年より増大し、数量は416トンと前年（210トン）の2倍、金額は7千7百万円と前年（4千7百万円）の6割増となった。 ※すけとうだら延縄漁業の漁期：11月1日～翌年3月31日 |
| ホッケ | 近年、漁獲の減少しているホッケは、春先の水揚げが好調で数量が702トンと前年（506トン）の4割増となったものの、金額は5千1百万円と前年（5千8百万円）の1割減となった。 |
| スルメイカ [水揚げ金額第3位] | 全国的に漁獲が不振であるスルメイカは、6～7月の水揚げが低調で、数量は483トンと前年（968トン）の5割減、金額は3億4千万円と前年（5億4千万円）の4割減となった。 |
| タコ | 数量は329トンと前年（302トン）の1割増となったものの、金額は1億8千万円と前年（2億1千万円）の2割減となった。 |
| ナマコ [水揚げ金額第2位] | 数量は68トンと前年（83トン）の2割減、金額は4億5千万円と前年（5億2千万円）の1割減となった。 |
| ウニ [水揚げ金額第1位] | 数量は55トンと前年（53トン）よりやや増、金額は5億2千万円と前年（4億8千万円）より1割増となった。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ニシンの数量は、3トンと前年（3トン）並。 サクラマスは、49トンと前年（54トン）の1割減。 ヤリイカの数量は、5トンと前年（95トン）の9割減 アワビの数量は、5トンと前年（5トン）並。 |

※檜山管内と熊石地区（八雲町）で水揚げされた数量（属地：管外での水揚げを含まない）。

※ウニ、カキはむき身重量、海藻類は干し上がり重量